



ひとりぼっち ゼロ PROJECT

ニュース No.55
2022.7.1



©1970-COMPAGNIA CINEMATOGRAFICA CHAMPION(IT) - FILMS
CONCORDIA(FR) - SURF FILM SRL, ALL RIGHTS RESERVED.

映画 ひまわり 上映会開催！

2022年7月31日（日）同日2回上映

① 10:30~12:40 ②13:30~15:40

長田区文化センター 3階大会議室

■申込受付中 参加協力金 1,000円(中学生以上)

※チケット申込み・問合せは

当 PROJECT 事務局(神戸ろうあ協会内)まで

※チラシは PROJECT ホームページからダウンロード可

ひまわり咲き乱れるウクライナを舞台に戦争のもたらす悲劇を描いた名作です。平和への願いを込めて、上映します！

優生保護法問題学習会開催

6月4日、旧優生保護法問題を多くの人に知ってもらうと、神戸で学習会が開かれました。冒頭で兵庫の弁護団より兵庫優生裁判原告の小林喜美子さんが同日朝お亡くなりになられたとの報告がありました。裁判で国と闘い、その意思半ばで旅立たれた原告を偲び、会場とオンラインの参加者全員で黙とうを捧げました。

弁護団長の藤原弁護士は「優生保護法問題は終わっていない。憲法違反、人権侵害の法律ができて、行政・自治体が必死になってそれを実行してきた。法律を削除する時に国は何の総括も反省もしなかった。優生保護法に誤りがあったということ、優生思想は間違っているという教育を国民にしてほしい。」と力強く訴えられました。

兵庫の原告の鈴木由美さんは「なぜ障害があるだけでこんなに苦しい思いをしないといけないのか。当たり前のように生きたい。結婚して、子どもを産みたかった。元気のある限り、闘い続けたい。」と自分の苦しい状況を力を振り絞るように述べられました。

最後に被害者とともに歩む兵庫の会より「優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会」を5月に結成、この運動を動かす大きな後ろ盾になりたいと、全国運動として取り組んでいくことを報告されました。

神戸長田ふくろうの杜

放課後等デイサービス『ふくろうっこ』です

平日は学校が終わってからの利用なので滞在時間が短く宿題をしたりおしゃべりをしたり遊んだりと思い思いに過ごしています。土曜や祝日、長期休みには様々な企画に参加しています。

5月の末には淡路のおのころの家が運営している農園に行って玉ねぎの収穫体験をしてきました。広い畑一面の玉ねぎに驚き、収穫の方法を教わって次々と掘っていきました。葉や根の切り落とし方が悪いと商品にならないとの説明に、やや緊張しながら大きな玉ねぎを力いっぱい引き抜いていました。

お土産にいただいた玉ねぎについて「今夜は玉ねぎたっぷりのハンバーグだ」「こんな大きな玉ねぎは初めて！」「お母さんの喜ぶ顔が見られて嬉しかった」「来年もまた行きたい」などの楽しい感想がたくさん聞かれました。

自身と同じ聴覚障害者が主体となって農作業をしている姿からいろいろな考え、感じ取れたようです。



連絡先：きこえない人のひとりぼっちをなくそう PROJECT 事務局（神戸ろうあ協会内）

TEL：078-371-3071^{ゼロ} FAX：078-371-3052

E-mail：hitoribotch_0@yahoo.co.jp

https://www.normanet.ne.jp/~hitori-0/

